

科目コード

科目名：[社会的養護内容]

幼児教育科 (1) 学年 (演習) (1) 単位

担当者：[牧野美枝]

【授業の概要】

児童福祉施設が行っている養護の実践を理解し、児童観や施設観を養う。また、施設実習に臨むにあたって、各施設の役割や機能についての理解を深め、演習等を通して具体的な支援の方法を考える。

【授業要旨】

回数	大項目	小項目	授業内容 (留意点, テスト, レポート, 作業, 参考文献, 教材等)
第1回	オリエンテーション	施設養護の機能	高校時の施設実習経験者に体験発表をしてもらい、施設養護の機能について考える。また、施設実習に対する意欲を高められるようにする。
第2回	児童福祉施設各論	児童養護施設 知的障害児施設	児童養護施設、知的障害児施設の目的、原因、歴史、内容について理解を深め、具体的な支援の方法を考える。
第3回		肢体不自由児施設 乳児院	肢体不自由児施設、乳児院の目的、原因、歴史内容について理解を深め、具体的な支援の方法を考える。
第4回		重症心身障害児施設 盲ろうあ児施設	重症心身障害児施設、盲ろうあ児施設の目的、原因、歴史、内容について理解を深め、具体的な支援の方法を考える。
第5回		児童自立支援施設 その他の児童福祉施設	児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設、保育所、児童厚生施設等の施設において、各施設の目的、原因、歴史、内容について理解を深め、具体的な支援の方法を考える。
第6回		施設養護の実際	施設養護の基本原則
第7回	施設養護の実際	児童の基本的ニーズ	家庭、児童相談所、児童福祉施設における児童養護の流れを理解する。また、発達障害、人間関係障害について、事例等を中心に討議し考えを深める。
第8回		日常生活養護 地域社会との連携	生活集団、生活のリズム、衣・食・住の生活、余暇時間、学校・地域社会との連携について、事例等を中心に学ぶ。
第9回		チーム・アプローチ 治療技術	チームワークとグループワークの定義と機能を学び、専門的に児童のニーズに対応するためのチーム・アプローチについて考える。また、医学的治療、遊戯療法、リハビリテーション等について学ぶ。
第10回	施設養護を高めるために	処遇効果の測定評価 諸機関との連携	測定評価の前提条件、基準、反省と活用等について学ぶ。また、職員のチームワークの確立や児童相談所等諸機関との連携について理解する。
第11回		正しい福祉の展開 現状と課題	戦後の社会福祉の流れ、人口の高齢化、児童福祉の理念等について理解を深める。また、施設養護の現状と課題について考える。
第12回	施設実習に向けて	実習の心構え 態度	実習の心構え、態度等について理解する。
第13回		実習の目的 目標と内容	施設実習の目的、目標、内容について学ぶ。各施設の基本的な日常生活支援における実習内容を理解する。
第14回		実習記録の内容 かかわり方	実習内容の記入方法、記録の内容について学ぶ。また、各施設において一人ひとりに対する適切なかかわり方を考える。
第15回	まとめ及び評価	実習課題 まとめ及びテスト	施設実習に向けて、自己の実習演題を考え、明確にする。また、自己の実習課題の達成に向けて、どのような準備をすればよいかを考える。

【評価の方法】 定期試験、レポート、アンケート、ノート、出席状況等を考慮して評価する。

【テキスト】 「新訂施設実習マニュアル」小舘静枝・小林育子他（萌文書林）

【参考書】 「保育ライブラリ、保育の現場を知る 施設実習」民秋言・安藤和彦他（北大路書房）